

**第7回日中舗装技術ワークショップ**  
**7th CHIAN/JAPAN Workshop on Pavement Technologies**  
**開催案内・論文募集および参加登録案内**  
[2013年4月5日版]

土木学会 舗装工学委員会  
国際舗装技術交流小委員会

**1. 目的**

日本と中国はアジアに属し、英語を母国語とはしていないことから、研究成果を諸外国に十分報告しているとは言いがたい状況にあります。しかしながら、両国の研究者は、様々な研究活動を活発に行っており、それぞれの母国語で研究成果を発表しているという経緯があります。

そこで、両国の研究成果を互いに発表しあい議論することで、両国の舗装工学が抱える技術的問題点を解決することに寄与するものと考え、2011年9月21日～22日に沖縄で開催された第6回日中舗装技術ワークショップに引きつづき、下記要領で第7回目のワークショップを開催しますのでご案内しますとともに、発表論文の募集およびワークショップへの参加案内をします。

**2. ワークショップ概要**

**(1) 主催（予定）**

公益社団法人 土木学会(日本)  
ハルビン工科大学(中国)

**(2) 協賛および後援**

未定

**(3) 開催地（予定）**

ハルビン工科大学（中国黒竜江省哈尔滨市）

**(4) 開催日およびスケジュール（予定．1～2日前後する可能性があります）**

2013年8月29日～31日

月	日	予定
8月	28日(火)	哈爾濱市へ移動
	29日(水)	発表および討議
	30日(木)	発表および討議
	31日(金)	現地道路視察(実施を含めて未定)
9月	1日(土)	帰国

### 3. 発表

#### (1) 発表言語

中国語あるいは日本語（※逐次通訳を用意の予定）

#### (2) 発表時間

20分(発表19分，入れ替え1分)とします。

### 4. テーマ

舗装関連のテーマのうち特に下記分野のいずれかに関するもの。

(1)設計，(2)材料，(3)路面性状，(4)評価，(5)維持修繕

### 5. 論文提出

論文を提出する方は，下記のスケジュール，注意事項および末尾の論文執筆要領に従って，完成論文をご用意ください。

既発表論文であっても，その旨の表記があれば受け付けます。

#### (1) 論文投稿に関するスケジュール

5月10日	和文論文概要および英文完全版下論文原稿提出締め切り
5月17日頃	論文修正依頼
6月14日	英文最終原稿提出締め切り
6月24日頃	論文採否最終決定

#### (2) 和文論文概要の投稿

投稿サイト（<http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P5828709>）を通じて投稿してください。

#### (3) 英文完全版下論文原稿の投稿

論文は，下記にしたがってご用意ください。

##### 1) 言語

英語

##### 2) ページ数

10ページ以下

##### 3) フォーマット

Microsoft Word 2007以降（docx形式）

##### 4) その他執筆要項

末尾参照

##### 5) 提出方法

データ便（<https://www.datadeliver.net/>）や宅ふぁいる便（<http://www.filesend.to/>）等を利用して，[japanchina7@gmail.com](mailto:japanchina7@gmail.com)宛に送る。

## 6. 参加登録

### (1) 登録方法

未定につき，決定次第お知らせします。

### (2) 参加登録料金

現在問合せ中です。わかり次第お知らせします。

第6回の登録費を参考までに示します。

参考：2011年に沖縄で開催された第6回の登録費

会員種別	早期登録	早期登録以降
一般非会員	60,000 円	65,000 円
一般会員	55,000 円	60,000 円
給与所得のない学生	25,000 円	30,000 円

### (3) 支払い方法

未定につき，決定次第お知らせします。

### (4) その他

哈爾浜市には，新潟空港と関西国際空港からの直行便がありますが，それぞれ就航曜日が限られていることから，ワークショップ開催スケジュールに合致するかわかりません。

今のところ，日本全国から便がある仁川経由が便利と考えていますが，現地での交通手段等を考慮し，日本からのツアーを組む可能性があります。詳細は後日ご案内します。

## 日中舗装技術ワークショップ論文執筆要領

日中舗装技術ワークショップへの投稿論文は、以下の要領に従って作成してください。ページの末尾からサンプル(Microsoft Word 版)をダウンロードできます。

### 1. 使用言語

英語

※「μ」, 「±」, 「℃」, 「①」, 「㎡」などの全角文字や機種依存文字を、本文はもちろんのこと貼り付ける図表にも使わないようにご注意ください。全角文字の存在は、Wordで「校閲」→「文字カウント」で表示される内容のうち「全角文字+半角カタカナの数」がゼロかどうかで確認できます。

### 2. 用紙サイズ

A4 縦 (幅 210mm, 高さ 297mm)

### 3. ページ数

10 ページ以内

### 4. マージン

上(第 1 ページ) 80mm

上(第 2 ページ以降) 25mm

下 25mm

左 25mm

右 25mm

ヘッダー(第 1 ページ) 25mm

ヘッダー(第 3 ページ以降の奇数ページ) 15mm

フッター 15mm

### 5. 使用フォント

Times New Roman

### 6. フォントサイズとスタイル

ワークショップ名 12pt., すべて大文字, 斜体, 中央揃え

論文名 14pt., すべて大文字, 太字, 中央揃え

著者名 12pt., 左揃え

論文概要 12pt., 左揃え

キーワード 12pt., 斜体, 左揃え

本文 12pt., 左揃え

第1見出し 12pt., すべて大文字, 太字, 左揃え

第2見出し 12pt., 太字, 左揃え

第3見出し 12pt., 太字, 斜体, 左揃え

参考文献 12pt., すべて大文字, 左揃え

図表 12pt., 中央揃え

ヘッダー(第1ページ) 指定の会議ロゴ図

ヘッダー(第3ページ以降の奇数ページ) 10pt., すべて大文字, 太字, 中央揃え

フッター 10pt., 中央揃え

## 7. 空白

行間 1 行, 各段落の間に空白行を 1 行設ける

## 8. 数式

行中央に書き, 式番号を数式の右側に記す

## 9. ページ番号

ヘッダー(第1ページ) 会議のロゴ

ヘッダー(第3ページ以降の奇数ページ) 著者の姓

フッター 1ページから連続してページ番号

## 10. 論文の構成

1 ページ目 会議ロゴ

論文名

著者名, 所属名, 連絡先住所, メールアドレス

10 行以下の論文概要

5 語以内のキーワード

2 ページ以降 本文

参考文献

## 11. 使用単位

SI 単位

## 12. 使用ソフトウェア

Microsoft 社 Word 2007 以降

## 13. 提出ファイル

Microsoft 社 Word 2007 以降(2007, 2010, 2013 for Windows および 2008, 2011 for mac)で標準的に作成される "filename.docx" の形式の文書ファイル.

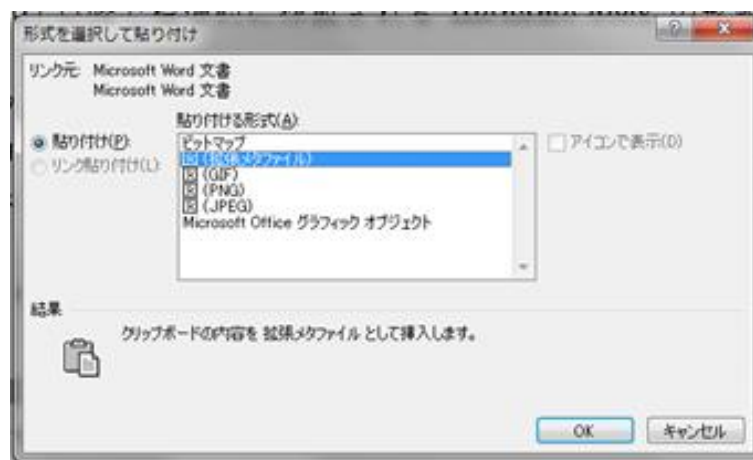
※委員会側で通しページ番号を振り付けるなど、最終フォーマットの統一作業をしますので、編集可能な docx 形式で提出してください。

※旧形式である doc ファイルは受け付けません。docx 形式とはページ改行の仕方等が異なるため、最終フォーマット作業の際にレイアウトが大幅に崩れるなどの懸念があるからです。

#### 14. 図表あるいは写真などの貼り付け方

「図」形式で貼り付けます（下図参照）。

このとき、たとえば Excel で作成した表やグラフを「リンク貼り付け」すると、ファイルを開くあるいは更新するときに問題が生じますので、「リンク貼り付け」は絶対にしないでください。



なお、カラーの図表あるいは写真は可能ですが、印刷した論文集では白黒になりますこと、あらかじめご承知おきください。

#### 15. サンプル

以上の論文執筆要領にもとづいたサンプルを示しますので、参考にしてください。